

都市再生整備計画事業 事後評価シート
日奈久地区

平成25年2月

熊本県八代市

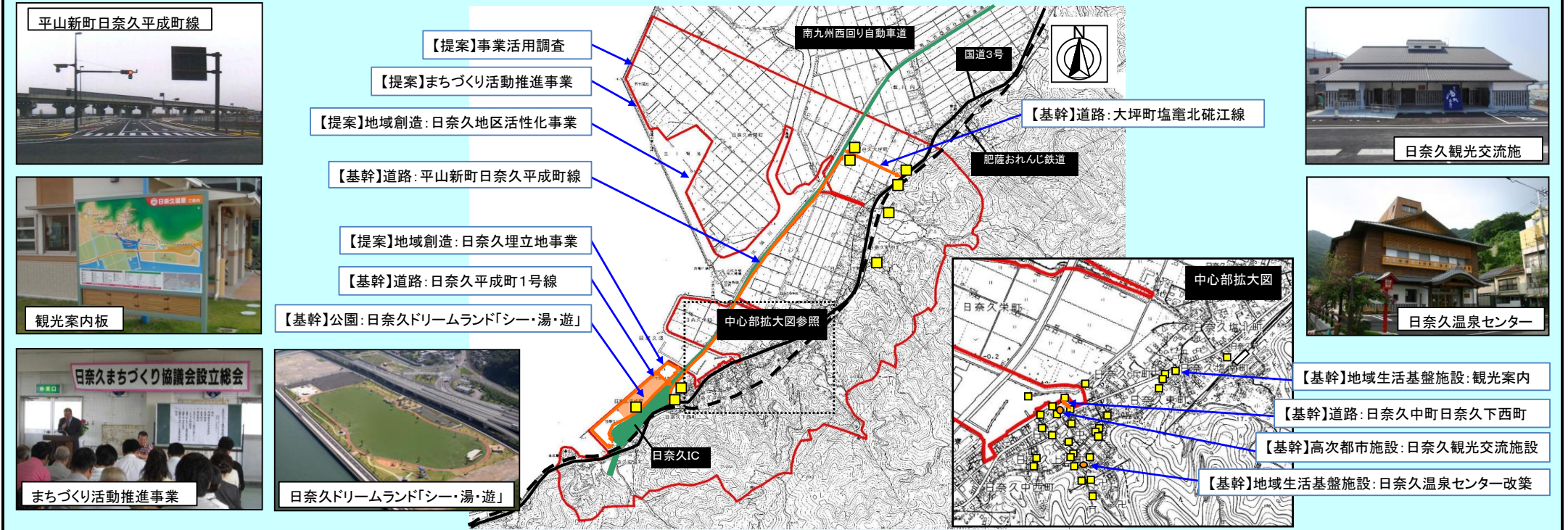
様式2-1 評価結果のまとめ

| 都道府県名 | 熊本県 | 市町村名 | 八代市 | | 地区名 | 日奈久地区 | | | 面積 | 686ha | | |
|--------------------------------------|---|---|---|---|---------|----------|---|----------|---|--|---|----------|
| 交付期間 | 平成20年度～24年度 | 事後評価実施時期 | 平成24年度 | | 交付対象事業費 | 2,175百万円 | 国費率 | 0.427 | | | | |
| 1)事業の実施状況 | 当初計画に位置づけ、実施した事業 | 基幹事業 | 事業名 道路(新設1路線、改築2路線)、公園(日奈久ドリームランド「シー・湯・遊」、地域生活基盤施設(温泉センター改築、観光案内板)、高次都市施設(日奈久観光交流施設) | | | | | | | | | |
| | | 提案事業 | 地域創造支援事業(日奈久埋立地事業、日奈久地区活性化事業)、事業活用調査、まちづくり活動推進事業 | | | | | | | | | |
| | 当初計画から削除した事業 | 基幹事業 | 道路(おれんじ鉄道側道整備) 高次都市施設((仮称)日奈久観光交流センター) | 事業名 | | | 削除/追加の理由 | | 削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 | | | |
| | | 提案事業 | 地域創造支援事業((仮称)日奈久観光交流センター 飲食施設) | | | | (仮称)日奈久観光交流センター整備事業を廃止したため。 | | 指標に関係するが目標値は据え置く | | | |
| | 新たに追加した事業 | 基幹事業 | 道路(日奈久中町日奈久下西町線改良) | | | | 道路:日奈久観光交流施設と一体的な整備を予定していたが、市道改良にあたるため道路事業に位置付けた。 | | 影響なし | | | |
| 提案事業 | | なし | | | | | | | | | | |
| 交付期間の変更 | 当初 | 平成20年度～24年度 | | 交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響 | | | | | | | | |
| | 変更 | なし | | | | | | | | | | |
| 2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況 | 指標 | | 単位 | 従前値 | 目標値 | 数値 | | 目標達成度 | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因(総合所見) | フォローアップ予定時期 | |
| | | | | 基準年度 | 目標年度 | モニタリング | 評価値 | | | | | |
| | 指標1 | 観光入込客数 | 人/年 | 113,351 | H18 | 125,000 | H24 | | ○ | あり なし | 観光拠点施設の整備による集客力の向上、日奈久まちづくり協議会を中心としたイベント等のまちづくり活動の展開及び、広域的な観光PR活動が観光客誘致に貢献した。 | 平成25年11月 |
| | 指標2 | イベント参加者数 | 人/年 | 6,000 | H18 | 7,200 | H24 | | ○ | あり なし | 「シー・湯・遊」でのスポーツ大会の開催や観光交流施設を活用した文化イベント等、これまでの日奈久地域にない新たなイベント開催が指標達成に貢献した。 | 平成25年11月 |
| 指標3 | まちづくり活動への参加者数 | 人/年 | 80 | H18 | 150 | H24 | | ○ | あり なし | 地域活性化に向けて、まちづくり協議会を中心にイベント開催やおもてなし空間の創出に取り組むことができた。また、協議会活動や地域の話題を住民と共有し、地域の絆づくりに貢献した。 | 平成25年11月 | |
| 3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況 | 指標 | | 単位 | 従前値 | 目標値 | 数値 | | 目標達成度※1 | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因(総合所見) | フォローアップ予定時期 | |
| | | | | 基準年度 | 目標年度 | モニタリング | 評価値 | | | | | |
| | その他の数値指標1 | | | | | | | | | | | |
| | その他の数値指標2 | | | | | | | | | | | |
| | その他の数値指標3 | | | | | | | | | | | |
| 4)定性的な効果発現状況 | | | | | | | | | | | | |
| 5)実施過程の評価 | 実施内容 | | | 実施状況 | | | | 今後の対応方針等 | | | | |
| | モニタリング | なし | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | | | | |
| | 住民参加プロセス | ①イベントの継続開催や広域的な観光PRの検討 ②旧JA倉庫改修にあたっての利用方法・維持管理方法の検討に関する市民参加機会の設置 ③温泉街全体としてふさわしい「まちなみの景観形成」や「もてなし空間の形成」に向けた官民一体の取組み ④日奈久地区道路整備事業等に係る地元説明会開催 | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた | | | | ●①②③ | | ①日奈久まちづくり協議会等、地元が主体的に開催するイベント等のPR活動を継続して行う。 ②日奈久観光交流施設(旧JA倉庫)を活用した、温泉街らしいイベントの開催について地元の取組みを支援していく。 ③旅館の女将さん達や日奈久まちづくり協議会による、温泉街としての景観形成やもてなし空間の形成に向けた取り組みを支援していく。 ④今後も事業実施にあたっては、住民の理解・協力を得るために地元説明会等を実施していく。 | | |
| | | | | 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した | | | | ●④ | | | | |
| 持続的なまちづくり体制の構築 | ・日奈久まちづくり協議会の会議サポートや組織運営に関するアドバイス、イベントプロデュース等の業務を、市からコンサルティング会社へ委託し支援を実施。 ・行政職員も会議やイベントに参加する等のサポートを実施。 | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | ● | | 日奈久まちづくり協議会の維持・継続にあたっては、市が推進する住民自治を考慮し、行政と協議会会員(地域住民)とよく話し合い、活動が継続されるよう取り組んでいく。 | | | |

様式2-2 地区の概要

日奈久地区(熊本県八代市)都市再生整備計画事業の成果概要

| まちづくりの目標 | 目標を定量化する指標 | 従前値 | 目標値 | 評価値 | | | | |
|---|---------------|--------|---------|-----|---------|-----|---------|-----|
| 大目標:歴史の香りと温泉情緒が漂うもてなしと元気に満ちたまちづくり 目標1:温泉センターを核とした雰囲気づくりと、おもてなしの心を大切にしながらもてなし空間を形成する。 目標2:埋立地内のイベント広場を舞台としたスポーツ・レクリエーション活動を通じて、新たな交流によるにぎわい空間を形成する。 目標3:住む人々が元気で、安全・安心に暮らせる良好な生活環境の形成を図り、住みたい・住み続けたい快適空間を創出する。 | 観光入込客数 | 単位:人/年 | 113,351 | H18 | 125,000 | H24 | 126,094 | H24 |
| | イベント参加者数 | 単位:人/年 | 6,000 | H18 | 7,200 | H24 | 10,800 | H24 |
| | まちづくり活動への参加者数 | 単位:人/年 | 80 | H18 | 150 | H24 | 333 | H24 |



まちの課題の変化

- ・日奈久地区における観光のシンボルとなる「日奈久温泉センター」の改築にあわせ、歴史的建造物を活用した観光交流施設「日奈久ゆめ倉庫」の整備や回遊性向上に向けた案内板の設置、イベント開催等を実施した結果、観光入込客数及びイベント参加者数の増加につながった。ただし、温泉街の賑わい再生に向け、旅館と行政が一体となった取組みが必要である。
- ・未利用地であった埋立地に、日奈久ドリームランド「シー・湯・遊」を整備し、合わせてJRA「ウインズ八代」の誘致を図り、集客性が向上した結果、観光入込客数及びイベント参加者数の増加につながった。ただし、防災公園として、更なる機能拡充を図る必要がある。
- ・安全・安心して生活できる居住環境の形成に向けて、市道を整備し、円滑な交通処理につながった。
- ・地域住民の活動拠点としての交流施設の整備や、「日奈久まちづくり協議会」を中心とした地域活動の展開により、地域コミュニティが活発化し、まちづくり活動への参加者数増加につながった。
- ・集客拠点の整備に合わせて、新たな交流促進を図るため、地域住民との連携によるイベントを企画・運営した結果、観光入込客数及びイベント参加者数の増加につながった。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・温泉センターやゆめ倉庫の活用を促進し、更なる集客性向上を図る。
- ・温泉街へのアクセス性向上を図るため、国・県とも連携を図りながら交通基盤の整備を推進していく。
- ・温泉街としての持続・再生を支援する。
- ・シー・湯・遊の利用の促進や、日奈久温泉の宿泊につながるスポーツ大会等の誘致を図る。
- ・地区住民の防災意識の向上を図る。
- ・市が整備した集客施設や交流施設を活用して、「日奈久まちづくり協議会」などのコミュニティが取り組むイベント等について、集客性の向上や継続のための側面支援を行う。
- ・シー・湯・遊において、災害時の避難場所としての安全性・防災性の向上を図る。